

1 総 則

この仕様書は、大崎地域広域行政事務組合消防本部において調達する消防吏員用被服の仕様について適用する。

2 仕 様

別紙各仕様書に合致するもの（別紙仕様書中に同等品可等の明示があるものは同等以上の性能を有するものを含む。）

3 納入期限・納入場所

- (1) 納入期限：活動服上下（夏用）及び救助服上下（夏用） 令和8年 8月31日（月）
上記を除く物品 令和8年10月30日（金）

- (2) 納入場所：大崎市古川千手寺町二丁目5番20号 大崎地域広域行政事務組合消防本部

4 採 寸

各サイズ現品見本により、各人の着せ付け採寸を行い、入念にサイズを決定するものとする。採寸日程は、調整のうえ実施するものとする。

5 検 査

検査は、外観検査及び分解検査とし、その経費は一切納入者の負担とすること。

6 納 品

製品の納入に際しては、1着ごとプレスした後ビニール袋により包装のうえ、氏名、サイズが容易に確認できるとともに、職員ごと紙袋等に一括にまとめて収納し、各所属に分けて納品すること。

7 支払方法

納入完了後一括支払（請求書受理後30日以内に支払う。）

8 納品の保証

納入後であっても生地、型式、縫製等に不備又は相違があるときは、速やかに補正し、又は取り替えるものとする。

9 暴力団等の排除について

- (1) この契約の履行期間中に大崎地域広域行政事務組合が発注する建設工事等からの暴力団等排除措置要綱（平成24年10月1日施行。以下「排除要綱」という。）の措置要件に該当すると認められたときは、契約を解除することがある。
- (2) 本組合から指名停止の措置及び資格制限の措置を受けている者にこの契約の全部又は一部を下請負させ、若しくは受託させてはならない。また、この契約の下請負若しくは受託をさせた者が、排除要綱の措置要件に該当すると認められるときは、当該下請契約等の解除を求めることがある。
- (3) この契約の履行に当たり暴力団員又は暴力団関係者（以下「暴力団員等」という。）から不当要求又は妨害を受けたときは、速やかに警察への通報を行い、捜査上必要な協力を行うとともに、発注者へ報告すること。また、この契約の下請負若しくは受託をさせた者が、暴力団員等から不当要求又は妨害を受けたときは、速やかに警察に通報を行うとともに捜査上必要な協力を行い、直接元請負人に報告する措置を行うよう指導すること。なお、暴力団員等から不当要求又は妨害を受け、警察への通報、捜査協力及び発注者への報告が適切に行われた場合で、これにより、履行遅滞等が発生するおそれがあると認められるときは、必要に応じて、工程の調整、工期の延長等の措置を講じる。

消防職員活動服 仕様書

大崎消防本部総務課

1. 概要

この仕様書は、大崎地域広域行政事務組合消防本部（以下「本部」という。）における消防職員活動服(上下)について定める。

2. 総則

- (1) 当活動服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき所属ごとにまとめて納品すること。
- (5) 証明書の提出については、落札者は使用生地についての紡績メーカーが発行した品質並びに原反出荷引受証明書を提出すること。
- (6) 納入業者は早急に試作品を提出し、係員の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (7) この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。
- (8) 採寸については、サイズ表による試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。（ズボン股下の寸法は各人の体型に合わせて仕上げること。）

3. 形式

(1) 上衣

台衿付きレギュラーカラー、前立て付き合わせファスナー、両胸アウトポケットファスナー付、左右胸ヨーク切り替え、肩章付き、カフス付きファスナー止め、右胸階級台マジック付き、左胸名札台マジック付、背ヨーク切り替え、裾シャツ型、肩部・背ヨーク下部蓄光パイピング付

(2) 下衣

ワンタック、両脇ポケット、両大腿部カーゴポケット（マチ部配色付き）、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、ベルトループ8本付、左右後片玉縁ポケット（左釦止め）、裾タブ止め付、ウエスト全周囲ストレッチ機能

4. 主材料

●通年使用表生地材料

ア 素材 : 東レ 難燃ストレッチツイル S 2 4 1 2 T S
イ 混紡率 : メタ系アラミド 7 3 % パラ系アラミド 5 %
難燃ポリエステル 2 0 % ポリウレタン 2 %
導電性繊維混入
ウ 色相 : C / # N T B (指定色)

●通年使用副生地材料

ア 素材 : 東レ 難燃ストレッチツイル N X 4 0 4 0 R
イ 混紡率 : メタ系アラミド 9 4 % パラ系アラミド 4 %
ポリウレタン 2 %
導電性繊維混入
ウ 色相 : C / # R O (指定色)

●夏使用表生地材料

ア 素材 : 東レ 難燃ストレッチツイル S 2 4 1 8 T S
イ 混紡率 : メタ系アラミド 7 3 % パラ系アラミド 5 %
難燃ポリエステル 2 0 % ポリウレタン 2 %
導電性繊維混入
ウ 色相 : C / # N T B (指定色)

●夏使用副生地材料

ア 素材 : 東レ 難燃ストレッチツイル N X 4 8 4 8 R
イ 混紡率 : メタ系アラミド 9 4 % パラ系アラミド 4 %
ポリウレタン 2 %
導電性繊維混入
ウ 色相 : C / # R O (指定色)

・参考品

- ・消防吏員用冬活動服上衣 : (株)イマジョー製 T X 9 0 0 0 V R 2
- ・消防吏員用冬活動ズボン : (株)イマジョー製 T X 9 0 0 1 D R

5. 縫製条件

ア 針 数

3cm間で地縫いは12針以上，飾り縫いは12針以上，オーバーロックは8針以上とする。

イ 穴かがり

上衣は平穴，下衣は鳩目穴小門止めとする。

ウ ボタン付け

機械付け，又は手付けとする。

手付けは2本の糸を1個の穴に3～4回通し根巻きは3回以上とする。

エ 裁 縫

糸調子は上下とも，ツレ・タルミのないようにし，返し針を完全にすること。

縫い糸はテترون糸を使用し，糸始末は丁寧に行うこと。

オ デザイン

FATHデザインに基づく立体構造のものとする。

カ サイズ

体形に合わせてA体はスリムに，B体は若干のゆとりをもったサイズ構成をとること。

6. 縫製要領

(1) 上衣

ア 衿

衿には芯を入れ，表衿端に12mm幅のトリミングを入れ周囲にステッチをかける。ステッチ糸は表裏に同系色でかける。台衿は表裏を縫い合わせ，台衿で上衿を挟み地縫いし表よりステッチで押さえる。

イ 前立て

前立ては見返しと縫い合わせる時，ファスナーを付ける。

表面は突合わせとしファスナーのムシを見せないように付け，見返し側も同様とする。

ファスナー端の見返し側よりダブルステッチを裾までかけ，下ファスナー止まり位置に門止めをする。袖ぐり，脇切り替え部分にはダブルステッチをかける。

ウ 胸ヨーク

左右前身の胸の辺りで切り替え，上身頃側へステッチをかける。

エ 肩章

表裏を縫い合わせ先三角形型釦止め，肩先付け位置幅50mm，長さ150mmとし，周囲には6mmステッチをかける。肩先側は袖付け根に挟み，袖側より40mm入った位置で縫い止め，その間にクロスステッチをかける。肩章先は穴かがりの釦止めとする。表裏とも配色生地を使用し，釦はオレンジ色を使用する。

オ 胸ポケット

左右の胸に口の長さ約140mmの両玉縁ファスナー付の切りポケットを付ける。口の周囲にステッチをかけ、口の両端は返し縫いをする。胸ポケットファスナーは閉じて脇側とする。表地を袋布とし、身頃の裏側に当て、周囲は二つ折りし、ダブルステッチを表面まで出るように縫い止める。右胸ポケットの中にスマートホン対応の内ポケットを付けること。

カ 右胸階級台座，左胸名札等

右胸切り替え位置より15mm上，ポケットの長さの中心やや脇側に25mm幅×長さ40mmのマジックテープ（メス）を取り付ける。左胸切り替え位置より約15mm上，ポケット長さの中心に，名札を縫い付ける。

左胸ポケットの上にワッペンで「大崎消防」と縫い付け，その下に刺繍で個人名を入れる。色は「大崎消防」が金茶，個人名は白とする。裏マジック付き，四方ほつれ防止の為，ヒートカット加工とする。（詳細は決定業者と調整する）

キ 背ヨーク

1枚仕立てVヨークとし配色生地を使用する。後部背切り替え，前肩は肩章付け辺り位置で切り替える。前肩部・後部縫い合わせに蓄光反射パイピングを挟み込む。切り替え線のヨーク側に6mm幅のステッチをかける。袖側にも6mm幅のステッチをかける。大きさは中心で約21cm（サイズにより変動）とする。

ク 脇身頃

脇身頃は裾から脇下まで，脇下から袖口までを続きとし，脇下に重ね布式ベンチレーションホールを設ける。ベンチレーションホールの上端は三つ折り始末をし，コバステッチと6mm幅のダブルステッチをかける。ベンチレーションホールの下端は二つ折りでオーバーロック始末し，6mm幅ステッチをかける。ベンチレーションホールは袖下布を上脇下身頃と重ね，上下を離し脇線のみで縫い合わせる。前後身頃側に6mm幅のステッチをかける。

ケ 袖

2枚袖のカフス幅60mm付きとする。袖口に2本タックを取り，長さ約160mmのファスナーを設ける。袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末，又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は，折り曲げ，カフス付け側にコバステッチと6mm幅のダブルステッチをかける。袖開きは玉縁ファスナー仕様とし，袖口カフス手前まで水かきを付ける。立体を持たせる為袖付け根後部にダーツをとる事とする。

コ 後身頃

後身頃は，ヨークと縫い合わせヨーク側へ6mm幅のステッチをかける。

サ 裾

シャツ型とし，三つ折り始末とし5mm幅ステッチをかける。

シ 片布・品質表示

左胸ポケット位置の身頃裏面に付ける。

ス 衿吊り・サイズ表示

衿吊りは衿ぐり後中心に挟み付け、サイズ表示は衿吊り横に挟み付ける。

セ 背プリント

背ヨーク部に高輝度反射プリントを施す。文字入れは2段とし、上段「宮城」、下段「大崎消防」、とする。(字体は角ゴシック体、色は青色とし、サイズを含め詳細は決定業者と協議する。)

ソ エンブレム刺繍ワッペン

エンブレム図のとおりとする。

取付け位置は、左上腕部の肩口付近に縫い付ける。

(2) 下衣

ア 前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側(外向き)に片倒しをする。

イ 前立て

左上前立てに芯を貼り、約35mm幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、門止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ 脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各1個付ける。ポケット口の長さ160mmとし、口の上下端に門止めをする。口にはコバステッチと6mm幅のダブルステッチをかける。向う布の表地端は、袋布に縫い合わせる。袋の周囲は袋縫いをする。右ポケットの袋布に小袋を縫い付ける。

エ 後

左右のウエストに各1本のダーツを取り、内側に片倒しをする。後中心の尻縫いは割縫い、裁ち目はオーバーロック始末をする。脇線と後中心の間(中心寄り)にベルト付け下より裾まで切り替え、脇側の方へ6mm幅ステッチをかける。後身を切り替えた中心側身頃の太腿辺りを斜めに切り替え下身頃側へ6mm幅ステッチをかける。ダーツ、後身・内腿切替え部は臀部の突っ張り感を軽減させるために必要とする。

オ 後ポケット

左右後に口幅10mm、口の長さ145mmの片玉縁ポケットを各1個付ける(玉縁作りミシン可)。ポケット周囲はコバステッチをかけ、口の両端は門止めをする。ポケット向こう布(表地)とし、袋布とはぎ合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。左後ろポケットのみ穴かがりボタン止めとする。

カ カーゴポケット

両大腿部横に左右マチ付の上辺約200mm、長さ約220mmのアウトポケットを付ける。

ポケット口はファスナー開き170mmの突合せとし、後閉じとする。玉縁の上下端はコバステッチをかける。後部のみ5cm幅のマチを設け、マチ部は配色生地を使用する。

キ 腰帯

マーベルト付きとし、幅約 40mm にストレッチ芯を貼り、ウエスト全周でストレッチ性を出す事とする。前両端は内側に折り曲げステッチで押さえる。ファスナー上の前中心に前カンを付ける。

ク ベルトループ

ベルト通し幅 60mm、長さ 20mm のものを前タック位置、脇、後ダーツ位置、後 2 カ所、合計 8 本付ける。ループ幅の両端はステッチをかける。

ケ シック

下前の持ち出し布下へ棒シック布を縫い代端に縫い止める。

コ 裾

指定寸法に裾上し、指定裾絞りタブを縫い付ける。寸法は縦約 60mm×横約 310mmとし、両側から絞れるように両端に 5 cm 四方のマジックを縫い付けるものとする。形状の詳細については、別紙詳細参照とする。

サ 脇縫い

後へ片倒しとし、6mm 幅ステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。

シ 内股縫い

縫い割し、裁ち目はオーバーロック始末とする。

ス サイズ表示・品質表示

片布下端に挟む。

セ 片布

左脇ポケット袋布に縫着する。

7. ネームワッペン

ア 使用生地 エンブロ #ブルー

イ 寸法 25mm×90mm

ウ 文字入れ「大崎消防」

エ 仕様 四方ほつれ防止のため、ヒートカット加工とする。

8. 刺繍ワッペン

ア 材料

①台地 エンブロン ポリエステル 100% C/ #1010 オレンジ

②グログランテープ C/ #紺

イ 加工

台地は別紙の形にてヒートカットを施す。

ウ デザイン

別紙絵図面参照

9. 検 査

納入に際し当組合立会いのもとに次の各号に掲げる製品検査を行うものとする。

- (1) 員数検査
- (2) 縫製検査
- (3) 寸法検査
- (4) 使用素材検査
- (5) 不良品があった場合は、再検査を実施すること。

10. 寸法表

活動服上衣サイズ表

部位 サイズ	着丈	肩幅	胸囲	胴囲	衿丈	ネック回り
AS	73	44	100	92	78	38
AM	75	46	105	97	81	39
AL	77	48	110	102	84	40
ALL	79	50	115	107	87	42
A3L	81	52	120	112	90	44
A4L	83	54	125	117	93	46
BS	73	48	110	107	78	42
BM	75	50	115	112	81	44
BL	77	52	120	117	84	46
BLL	79	54	125	122	87	48
B3L	81	56	130	127	90	50
B4L	81	58	140	137	91	52
B5L	81	60	150	147	92	54

活動服下衣(ズボン)サイズ表

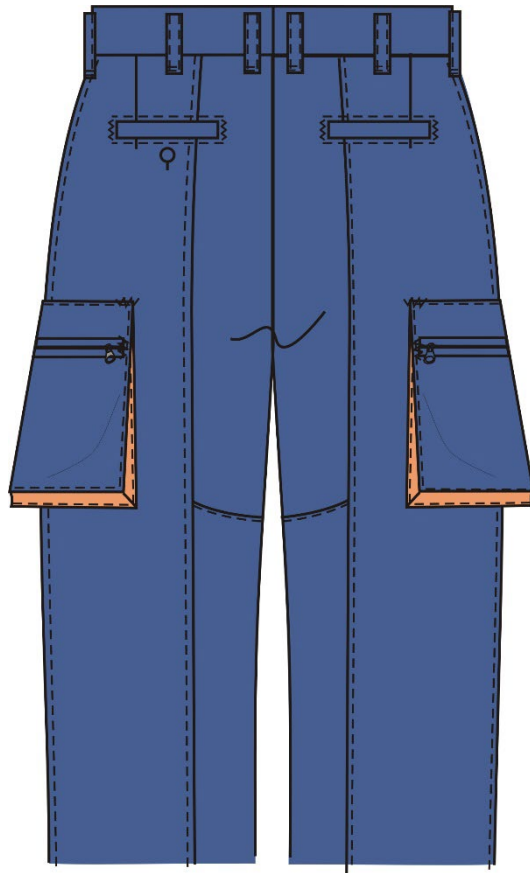
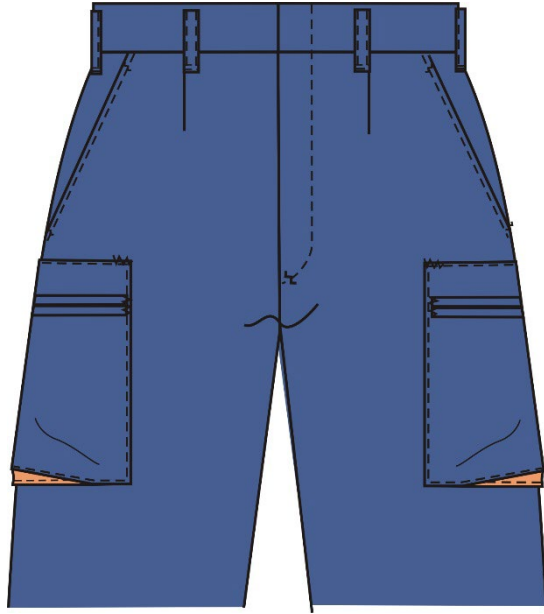
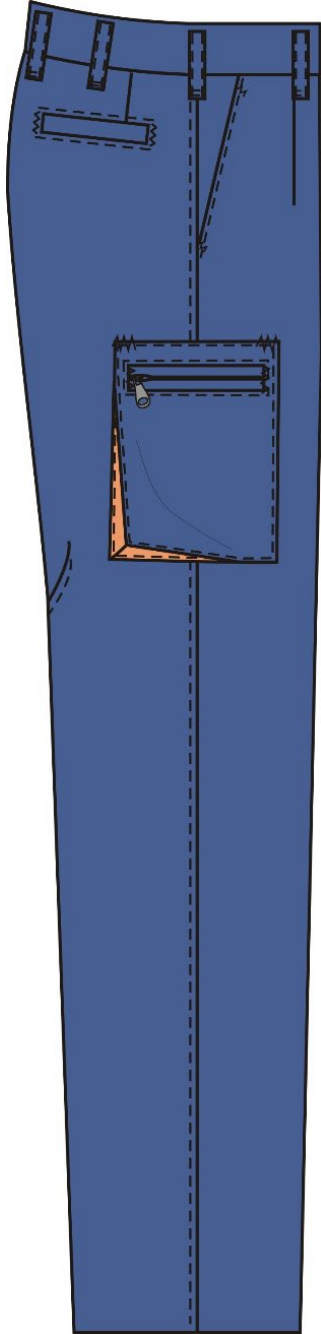
部位 サイズ	ウエスト	渡り幅	裾幅
A1	70	33.5	20.5
A2	73	33.5	20.5
A3	76	34.5	21
A4	79	34.5	21
A5	82	35	21.5
A6	85	35.5	21.5
A7	88	36.5	22
B00	82	36.5	23
B0	85	37	23
B1	88	38	23.5
B2	91	38	24
B3	95	38.5	24
B4	100	39	24
B5	105	40	25
B6	110	41	25

11. 絵図面

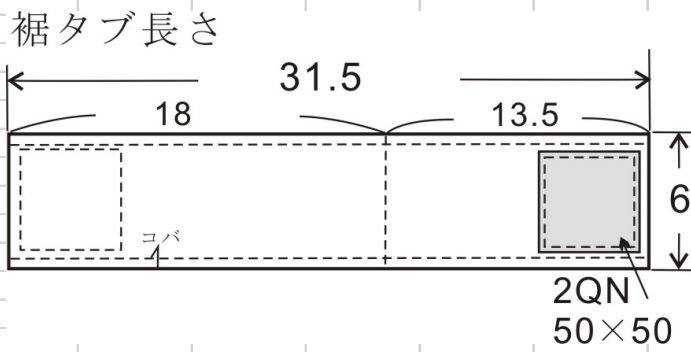
上衣絵図面



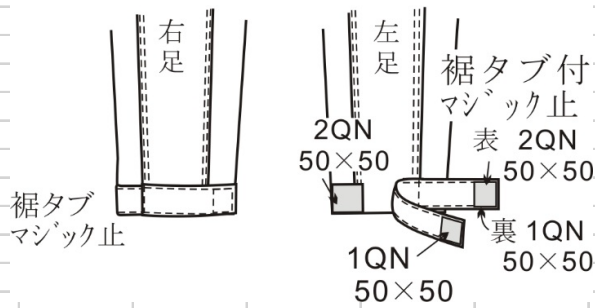
下衣絵図面



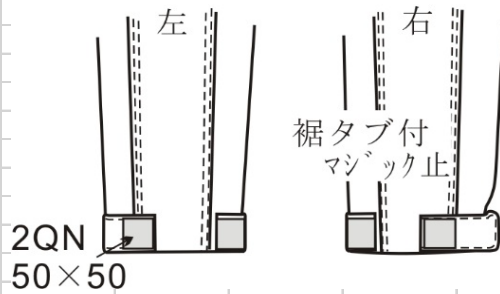
裾絞りタブ詳細



前裾仕様 (前から見て)

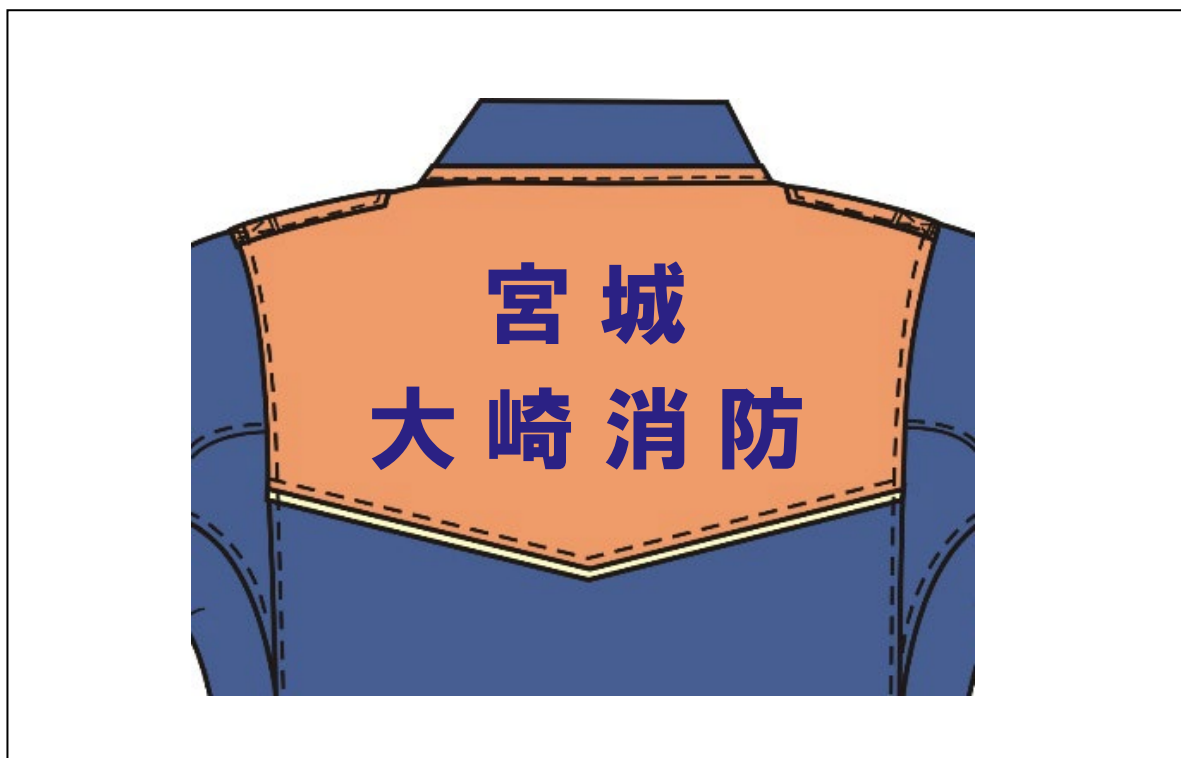


後裾仕様



背プリント詳細

- 1 高輝度反射プリント
- 2 寸法：縦約 150mm×横約 310mm
- 3 字体：角ゴシック
- 4 色：ネイビー



ネームワッペン詳細

- 1、寸法 : 25mm×90mm
- 2、字体 : 明朝体
- 3、文字色 : 金茶



刺繍ワッペン詳細



活動服及び救助服用ベルト仕様書

大崎消防本部総務課

1 総則

- ① この仕様書は大崎消防本部において購入する活動服及び救助服用ベルトについて定める。
- ② 使用する材料及び付属品は全般にわたって十分検査が施され、この仕様書のすべてに満足するものでなければならない。
- ③ この仕様書により見本を提示し、承認を受けること。

2 活動服・救助服用ベルト

- ① 素材・・・・・・・・ナイロン
- ② 巾・長さ・・・・・・・・48mm・120cm（フリーカットタイプ）
- ③ ベルト色・・・・・・・・紺
- ④ バックル・・・・・・・・取り外しバックル（2本ピン止め）
- ⑤ バックル色・・・・・・・・銀
- ⑥ その他・・・・・・・・2穴式とし、はと目穴5個以上とする。
剣先形状は丸型とする。

編上靴仕様書

大崎消防本部総務課

- 1 製品 シモン WS 3 3 静電靴消防CB

- 2 仕様
 - ① サイズ 22.5～30.0cm
 - ② 色 ブラック
 - ③ ウイズ 3E
 - ④ 性能 JIS T8101:S種に合格するものであること。
 - ・つま先：樹脂製先芯
 - ・本体素材：合成繊維製＋人工皮革製又は天然皮革製
 - ・補強素材：人工皮革製又は天然皮革製
 - ・踏み抜き防止：JIS規格 付加性能P
 - ・かかと部の衝撃吸収：JIS規格 付加性能E
 - ・耐滑：JIS規格 付加性能F
 - ⑤ その他 外側にサイドファスナー，背部に反射材

- 3 その他
同等品可とする。ただし，同等品とする場合は，現品見本を提示して事前に消防本部総務課の確認を受けること。

黒短靴仕様書

品名	892 黒
型式	スリッポン式
製法	セメント式製法 (J I S S 5 0 5 0 (革靴))

(1) 裁断

甲皮は、組織の良好な部分を使用し、傷、割れ、ダニ跡などの不良部位を避けて裁断する。

(2) 製甲

- a) 革すき機にて各部品の折込部、折返し部、縫割部等をすく。
- b) 折込機で各部品の折込部を折り込む。
- c) 踵部を縫割し、縫割補強テープを貼る。
- d) 腰革に踵革を縫い付ける。
- e) 腰革履口廻りに、腰裏革を1条ミシンにて縫い付け、甲ゴムを挟込んで縫い付ける。
- f) 舌革に舌裏革を貼り、1条サライミシンにて縫い付ける。
- g) 爪革先芯部に先芯を貼り、更に先裏革を貼り、爪革センターに合わせて舌革を1条ミシンにて縫い付ける。
- h) 爪革にバンドを貼り、冴ミシンをかける。

(3) 底付け

- a) 靴型に中底を仮止めする。
- b) 踵部に月型芯を入れる。
- c) 完成甲革を靴型に合わせて吊り込む。
- d) 表底の接着面と、製甲の吊り込み面を起毛する。
- e) 表底と製甲起毛部分に接着剤を塗り、乾燥させる。
- f) 熱活性を行ってから、製甲と表底を接着、圧着する。
- g) 靴型を抜く。

(4) 仕上げ

- a) 底付済みの底イバリを取り除き、甲皮の汚れを落とし、仕上げ剤を塗布する。
- b) 中敷を装着する。
- c) 傷、汚れ、その他欠陥の有無を全数検査し、不合格品を検出する。

(5) 梱包

- a) 靴の内部に保形材を入れてから、1足ごとにライスペーパーで包んで一足箱に収納する。
- b) 一足箱には、品名、色、サイズ、ワイズを記入する。

材 料

名 称	使 用 材 料	規 格
甲 革	牛クロームなめしスムース皮	黒色 付表-1
舌裏、腰裏	合成皮革	厚さ 1,0mm 以上 ベージュ
爪 裏	ナイロン100% 不織布	6ナイロン・66ナイロン混紡不織布
中 底	プレスボード中継シャンク付	厚さ 1,8mm 以上
中 物	スポンジ	厚さ 2,0mm 標準
先芯、月型芯	合成材	厚さ 1,2mm 以上
中 敷	EVA+合成皮革	厚さ 2,5mm 以上
表 底	ウレタン底	黒色 付表-2
甲 ゴム	ナイロン甲ゴム	黒色 巾 25mm 標準

付表-1 (甲革の規格)

項 目	規 格	試 験 方 法
厚さ (mm)	1, 3 以上	JIS K 6550
引張強さ (Mpa)	12, 0 以上	
切断時の伸び (%)	30, 0 以上	
引裂強さ (N/mm)	30, 0 以上	
銀面割れ 荷重 (N) 高さ (mm)	150, 0 以上 6, 0 以上	JIS K 6548
染色堅牢度 (乾燥試験)	2 級 以上	JIS K 6547

付表-2 (表底の規格)

項 目	規 格	試 験 方 法
引張強さ (Mpa)	3, 2 以上	JIS K 6251
伸び (%)	300 以上	
引裂強さ (N/cm)	160 以上	JIS K 6252
耐屈曲性 (10万回 標準)	異常なし	ロス式 角度 90度

救急靴仕様書

1 適用範囲

この仕様書は、普通作業用靴ウィンジョブ CP502 及び 8517 黒静電靴について規定する。

2 規格について

JSAA 規格 A 種認定品又は JIS 規格 T8101 の S 種（普通作業用）以上を満たすもの。

3 靴の形体

(1) 靴の形体は次のとおり。

短靴（ひも式）又はスリッポン式とする。

(2) 靴のサイズは次のとおり。

単位	cm	22.5	23.0	23.5	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0
		26.5	27.0	27.5	28.0	29.0	30.0		

(3) 靴の重量 片足約 500g 以下（26.5cm の場合）

4 使用材料

この靴の使用材料は次のとおり。

- (1) 甲被 人工皮革又は天然皮革
- (2) 外底 耐油性合成ゴム
- (3) ミッドソール 合成樹脂
- (4) 中敷 合成樹脂又は合成繊維

5 構造

製法はカリフォルニア製法又はインジェクション式製法とする。

6 品名

- (1) 株式会社アシックス社製 ウィンジョブ CP502
- (2) 株式会社シモン社製 8517 黒静電靴

防寒着（ブルゾン）仕様

大崎消防本部総務課

第1. 総 則

- 1) この仕様は、防寒着（ブルゾン）について定める。

第2. 形 式

アシックスウォームジャケット（フード付き）

< L K S 6 0 0 C / # 5 9 2 0 ダークネイビー >

上 衣	立ち衿、前中心オープンファスナー、前立てドット釦止め、アウトポケット付き 左右の胸にフラップ付き片玉縁ポケット、両脇ファスナー付きポケット、 肩章付き、身頃の両脇に再帰反射パイピングテープ挟む、 左袖上腕にフラップ面ファスナー止めのマチ付きアウトポケット、 脇身頃から袖下続き袖、袖口カフスゴム入りとマジックテープ止め、 後身頃ファスナー付きポケット、フード付き 背中プリント
配 色 使 用 箇 所 (オレンジ)	衿内側、胸フラップの端（表面のみ）、脇身頃

第3. 主 材 料

< 生 地 規 格 >

項 目		規 格	試 験 方 法
品 番		TE2527	
品 名		タフタ	
混 用 率		ポリエステル 100%	JIS L 1030
番 手		(経) 84dtex (緯) 140dtex	JIS L 1096
密 度 (1 インチ間)		(経) 113 本以上 (緯) 80 本以上	JIS L 1096
質 量		90 g / m ² 以上	JIS L 1096
引 張 強 さ		(経) 800N 以上 (緯) 530N 以上	JIS L 1096 ラベルトストリップ法
引 裂 強 さ		(経) 10N 以上 (緯) 11N 以上	JIS L 1096 ペンジユラム法
寸 法 変 化 率		(経) ±2%以内 (緯) ±2%以内	JIS L 1096 C法
染 色 堅 牢 度	汗試験 酸 アルカリ	4 級以上 4 級以上	JIS L 0848 A法
	洗濯試験	4 級以上	JIS L 0844 A-2 号
	摩擦試験	4 級以上	JIS L 0849
	耐光試験 照射 10 時間	3 級以上	JIS L 0842
ピリング		5 級以上	JIS L 1078 A法
耐水度		800cm 以上	JIS L 1092 A法(初期値)
撥水度		5, 5, 5	JIS L 1092 スプレー法(初期値)

第4. 副 材 料

副 材 料	袋 布	使用箇所	メッシュ	右胸ポケット中		
		起毛		サイドポケット、左胸ポケット、下前持ち出し（裏面）		
	糸			地縫い	ステッチ	
		針数（3 cm間）		13～15針	13～15針	
		色		表地に同系色	表地に同系色	
	付 属	品名		種類	数量	位置
		ドット釦		頭紺(ケシ)15 mm 下：CHARMS シルバー	15	前中心、肩章、フード サイドポケットフラップ
		面ファスナー		(オス)12 mm×80 mm	2	左胸ポケット
				(オス)12 mm×50 mm	1	左袖フラップ
				(オス)12 mm×40 mm	1	裾タブ受け
				(オス) 20 mm×40 mm	1	フードタブ
				(オス) 20 mm×40 mm	2	袖口タブ
				(メ) 20 mm×140 mm	1	フード後
				(メ) 20 mm×130 mm	2	袖口カフス
		コールゴム		10 mm幅(黒) 90 mm	1	携帯ポケット
		オープンファスナー		5VS 紺 ループ付き	1	前中心
		止ファスナー		45C 紺 ループ付き	2	腰サイドポケット
		止ファスナー		45C 紺 ループ付き	1	後ポケット口
		止ファスナー		45C 紺 ループ付き 100 mm	1	左袖ポケット
		止ファスナー		3C 紺 ドロップ 170 mm	1	左内ポケット
		ストレッチコード		黒		フードヒサシ
		ストレッチコード		黒	1	フード
		ストレッチコード		黒	1	裾
		コードエンドストッパー		黒	2	フード
		コードロック		黒	2	フード
		コードストッパー		黒	2	裾
グログランテープ		6 mm幅 黒		裾ストッパー止め		
ハトメ穴		内径 5.5 mm	10	フード、裾		
Dカン		プラパーツ内径 22 mm 黒	1	右胸アウトポケット下端		
ナスカン		PH-15 黒	1	左腰ポケットの中		
再帰反射 ハイキングテープ				脇身頃切り替え前後		
片布			1	右前身頃の裏面		
品質表示			1	左前脇切り替え線裏布に挟む		
サイズ表示			1			

第5. 縫 製

箇 所	要 点
縫 い	<ul style="list-style-type: none"> a. 各部の縫い合わせは、上下糸のつれ、たるみのないこと。 b. 縫い飛び、縫いはずれのないこと。 c. 縫い目曲がり、縫い継ぎが目立たないこと。 d. 縫い始め縫い終わりは、返し縫い、及び縫い止めを完全にすること。 e. 針穴傷、送り歯傷等、地糸切れのないこと。 f. 不適当なイセ込み、伸ばし縫いのないこと。 g. 穴かがり、冑止め、釦付け等付属類の位置が正常であること。 h. 飾り縫いの幅が正常で曲がりのないこと。 i. ピリ付きがないこと。
上 衣	
衿	<ul style="list-style-type: none"> a. 立ち衿とし、表面の衿腰部分にフードを止めるドット釦が見えない様におおい布を付ける。 おおい布は上側のみをコバステッチでかけ、下側は浮かしておき両端に冑止めをする。 b. 表裏（裏側は配色）を縫い合わせ、上端に 15 mm幅と 6 mm幅のダブルステッチをかけ、前中心側はオープンファスナーを挟みダブルステッチ、前中心側はオープンファスナーを挟みダブルステッチをかける。
前ヨーク	<ul style="list-style-type: none"> a. 胸ポケットのフラップ位置で切り替え、フラップと縫い合わせ身頃上側にコバステッチと 6 mm幅のダブルステッチをかける。
前 身 頃	<ul style="list-style-type: none"> a. 腰部分で切り替え、前半身で 3 枚ハギとする。 b. 前中心は裾部分から衿先までオープンファスナーのムシを見せて挟みコバステッチと 7 mm幅のダブルステッチをかける。 c. 右前身頃の前中心オープンファスナー下側に持ち出し布を挟む。 持ち出し布は幅 35 mm、長さは第 3 ドット釦までとし周囲をコバステッチと 6 mm幅のダブルステッチでかけ、下端に冑止めをする。
後 身 頃	<ul style="list-style-type: none"> a. 後身頃は腰部分で切り替え、見返しを付けおおい布とする。おおい布下端にコバステッチと 6 mm幅のダブルステッチをかけ、後脇の切り替え端から端までおおい布を付ける。
袖	<ul style="list-style-type: none"> a. 肩先から付け、袖下は脇身頃から続きの袖下とハギ、袖側にコバステッチと 6 mm幅のダブルステッチをかける。

袖	<p>b. 袖口は幅 30 mmのカフスを付け、後側部分はゴム入りとする。ゴムの両端はダブルステッチ押さえとする。</p> <p>袖下線のカフス縫い合わせ位置に幅 30 mm、長さ 70 mm、周囲をコバステッチでかけ面ファスナー（オス）を付けたタブを挟む。</p> <p>c. カフス前側に幅 20 mmの面ファスナー（メス）を付ける。</p>
前立て フラップ	<p>a. 衿上端より裾下端まで、衿部分幅 75 mm、身頃部分幅 70 mmとし、表裏を縫い合わせ周囲にコバステッチと 6 mm幅のダブルステッチをかける。</p> <p>b. フラップ前端にドット釦 7 個を付ける。</p> <p>c. フラップは左前身頃にコバステッチと 6 mm幅のダブルステッチで付け、上端と下端に閉止めをする。</p>
脇身頃	<p>a. 脇身頃(配色)は袖下続きとし、肘あたりまでとし、上袖と縫い合わせる。</p>
再帰反射 パイングテープ	<p>a. 前脇身頃切り替え線裾から袖付け線、後脇身頃の切り替え線の裾までパイピングテープを両脇に挟む。</p> <p>b. 身頃側にコバステッチと 6 mm幅のダブルステッチをかける。</p>
肩章	<p>a. 左右の肩に袖付け側、幅 75 mm、剣先側幅 40 mmとし、表裏を縫い合わせ周囲にコバステッチと 6 mm幅のダブルステッチをかける。</p> <p>b. 袖付け側の肩章幅、両端に閉止めをし、剣先部分にドット釦止めとする。</p>
胸フラップ	<p>a. 左右の胸切り替え線にフラップを前端から脇切り替え線まで挟む。</p> <p>フラップの下端部分と脇部分は表面のみ配色地をフラップの上に乗せ、コバステッチで押さえ縫いし、フラップ下端はコバステッチと 6 mm幅のダブルステッチをかける。ステッチ糸の色相は表地に同系色とする。</p>
フラップ下 片玉縁ポケット	<p>a. 胸切り替え線フラップ下に口幅 13 mm、口の長さ 150 mmの片玉縁ポケットを設ける。口の両端に閉止めをし、下にはコバステッチをかける。</p>
右胸アウト ポケット	<p>a. 片玉縁下にアウトポケットを付ける。脇切り替え線と前身頃腰部分の切り替え線に合わせ、長さ 210 mmとしポケット口は前中心側に設け、クレセントシェイプ型とする。</p> <p>b. ポケット口は見返しと縫い合わせ、袋布は裏布とし周囲をコバステッチと 6 mm幅のダブルステッチで押さえる。</p> <p>ポケット口の上下端に閉止めをする。</p> <p>c. ポケット下端の幅中央にループ幅 20 mm、長さ 15 mmの下端をわにしDカンを通し下端に挟む。ループ幅分に閉止めをする。</p>

右胸 内ポケット	a. メッシュ地でポケット口 15 mm幅の三つ折り始末をし、ゴムを入れ、口上り幅 90 mm、長さ 120 mm、周囲をコバステッチで押さえ口の両端に閉止めをする。
左胸アウト ポケット	a. 片玉縁下にアウトポケットを付ける。脇切り替え線と前身腰部分の切り替え線に合わせ、長さ 210 mmとし、ポケット口は前中心線に沿ってまっすぐとし、マジックテープ 2 ヲ所止めとする。 b. ポケット口は見返しと縫い合わせ、袋布は別布とし、周囲をコバステッチと 6 mm幅のダブルステッチで押さえる。ポケット口の上下端に閉止めをする。
脇ポケット	a. 左右の脇切り替え線にフラップを挟みフラップの上部は、身頃切り替え線に挟み、下部はドット釦止めとする。脇線側の下側に閉止めをする。 b. フラップは表裏を縫い合わせ、端と下側にコバステッチと 6 mm幅のダブルステッチをかける。 c. フラップ下側にファスナー付きポケット口を設ける。ファスナーはムシ見せとし、ファスナーを閉じた時にスライダーは上で止まる。 スライダーの引き手に表地で幅 10 mmの紐を付ける。 d. ポケット袋布は別布とし、左ポケットの中だけに幅 12 mm、長さ 50 mm、幅の両端にコバステッチをかけた紐の先にナスカンを付ける。
袖ポケット	a. フラップ幅 55 mm、長さ 130 mmとし、面ファスナー止め、ファスナー付きポケット口とマチ付きアウトポケットを左袖に付ける。 b. フラップ裏面に長さの中心位置に幅 15 mmの面ファスナー(メス)を付け、表裏を縫い合わせ周囲をコバステッチと 6 mm幅のダブルステッチをかけ、フラップ付けは二つ折りしコバステッチと 6 mm幅のダブルステッチをかける。フラップ付けの両端に閉止めをする。 c. フラップ付け上端より 20 mm下がった位置にマチ幅 30 mmを周囲に付けコバステッチでアウトポケットを付ける。口幅 120 mm、深さ 135 mm、ポケット口は三つ折り始末をし 12 mm幅ステッチをかける。フラップの面ファスナー(メス)に合わせポケット口に面ファスナー(オス)を付ける。 d. アウトポケットの表面、前中心側にファスナー付きポケット口を設ける。ポケット口の周囲はコバステッチをかけ、口の上下端は閉止め、周囲にコバステッチと 6 mm幅のダブルステッチをかけ、ポケット口両端はマチ布をたたんで閉止めをする。ファスナースライダーの引き手に表地で幅 10 mmの紐を付ける。
後ポケット	a. 後身頃切り替え位置のおおい布下にファスナー付きポケット口を設ける。ファスナーはムシ見せとし、周囲にコバステッチをかけ口の両端に閉止めをする。スライダーの引き手に表地で幅 10 mmの紐を付ける。

後ポケット	b. ポケット袋布は裏布使用とする。
左前見返し 内ポケット	a. 左前見返し部分にファスナー付きポケット口を縦に設ける。 口の長さ 170 mmとし、周囲にコバステッチをかけ上下端に閉止めをする。 b. ポケット袋布は裏布使用とする。
裏	a. 総裏とし、前端見返し布、衿ぐり見返し布と裏布を縫い合わせる。
裾	a. ヘム見返し布幅 30 mmを付け、下端ヘム側のみに裏コバステッチをかけ、見返し幅 30 mm上側はコバステッチと 6 mm幅のダブルステッチ押さえをする。 b. 裾にストレッチコードを通し、左右の前端部分のストレッチコードを閉止めする。(この閉止めは表に出ない) c. 左右の前脇身頃切り替え線位置の裾内側にハトメ穴 2 個を 30 mm離して打ち、そのハトメ穴よりストレッチコードを出し、コードストッパーを付ける。 d. ヘム見返し上側端にコードストッパーを止める。グログランテープを左右に付ける。グログランテープ上側は閉止めを表まで通してかける。
コード止め タブ	a. 左右の前身頃 1 裾に幅 15 mm、長さ 60 mm、周囲にコバステッチをかけ、裏面に面ファスナー (オス) を付けたタブを付け、タブに合わせた位置のヘム部分に面ファスナー (メス) を付ける。
フ ー ド	a. フード切り替え線は後面と頭部前面にし、2 枚ハギとする。切り替え線前側にコバステッチをかける。 b. 前つば部分の見返し、フード裏布、フード下側に幅 30 mmの見返しを縫い合わせる。 c. 前端のつば部分にストレッチコードを入れ、ステッチで押さえる。フードの周囲にコバステッチをかけ、前端は見返し幅の端押さえステッチをかける。裾はコバステッチと 30 mm幅ステッチをかけ、ドット釦 4 個を付ける。 d. 前部分に端から端までストレッチコードを入れ、前つばあたりの左右に見返し側のみにコードを止める。閉止めをする。 e. 左右のフード前部分にハトメ穴 30 mm間隔で縦に 3 個打ちストレッチコードをハトメ穴から出しコードロックを付け、下端のストレッチコード端にコードエンドストッパーを付ける。
片 布	a. 右前身頃の裏面裏布に付ける。
品質表示	a. 左前脇身頃切り替え線の裏布に挟む。
アシックス ネーム	a. 衿ぐりの後中心に挟む。 b. 左脇身頃後切り替え線の表面に挟む。
プリント	a. 後見頃上部に『宮城 大崎消防』と反射でプリントをする。 b. 1 文字縦 7 cm×横 7 cmとし、字体は ARP ゴシック体とする。

	<p>c. 左胸アウトポケット上部に『大崎消防』と反射でプリントする。</p> <p>d. 1文字縦2cm×横2cmとし、字体はAR Pゴシック体とする。</p> <p>e. 反射はオレンジとする。</p>
--	---

第6. サイズ

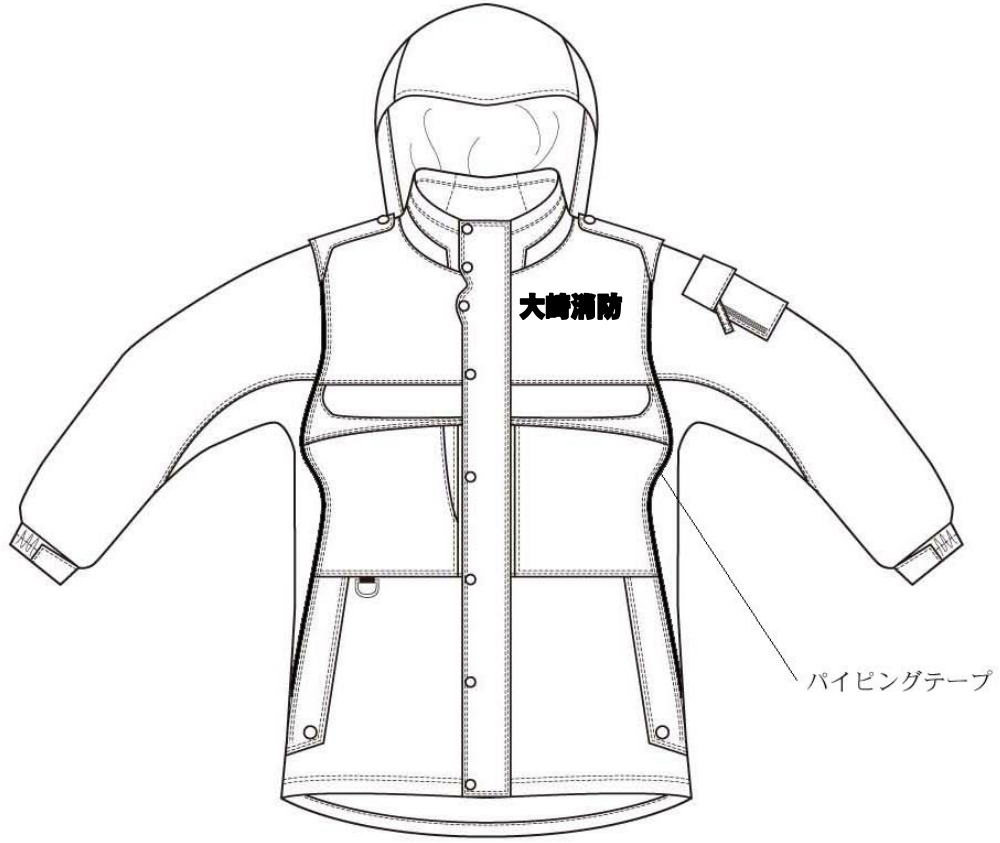
ウォームジャケット(フード付き)サイズ表

(出来上がり寸法 単位：cm)

部位 サイズ	着丈	胸囲	胴囲	裾丈	肩幅
S	73	117	109	81	48
M	75	121	113	83	49
L	77	127	119	86	51
LL	79	133	125	88	53
3L	81	139	131	91	55
4L	83	145	137	93	57
5L	85	151	143	96	59

第7. その他

納入後1年以内に製品に受注者側の責に帰する瑕疵が生じた場合には、修繕・交換等の必要な措置を受注者側が講ずるものとする。



救助服（上下） 仕様書

1. 総則

この仕様書は、大崎地域広域行政事務組合消防本部における救助服(上衣・下衣)について定める。

2. 型式

(1) 上衣

前立てファスナー（衿先ジップアップ）、脇下ベンチレーション、裾シャツ式
左右胸ファスナー付き貼りポケット、右胸階級台マジック付き、肘刺し子付き、
袖口ファスナー水かき付き、前後身頃切り替え部・肩部刺し子加工 4D カッティング

(2) ズボン

前立てファスナー、ベルトループ5本付き、両サイドファスナー付アウトポケット
膝・脇・後身・股下部刺し子加工

3. 表生地（別紙参照）

(1) 通年用

①種類

東レ NX4040S (C / # オレンジ)
難燃ストレッチツイル

②混紡率

メタ系アラミド（ノーメックス）	94%
パラ系アラミド（ケブラー）	4%
ポリウレタン	2%
導電性繊維混入	

(2) 夏用

①種類

東レ NX4848S (C / # オレンジ)
難燃ストレッチトロピカル

②混紡率

メタ系アラミド（ノーメックス）	94%
パラ系アラミド（ケブラー）	4%
ポリウレタン	2%
導電性繊維混入	

4. 条件

- (1) 針数は30mm間に飾り・刺し共に10針以上とすること。
 - (2) 縫製糸はコーネックス40番オレンジ、生地と同色とすること。
 - (3) 縫製の糸調子は上下共ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。
 - (4) 動きやすさ、強度を補うため、難燃ストレッチ素材を使用すること。
- その他不明な点については、消防本部と協議すること。

5. 縫製要領

(1) 上衣

ア. 衿

裏衿腰部分にステッチを7本かけ、衿腰より衿端にはジグザグステッチをかける。
表衿と縫い合わせ、周囲にダブルステッチをかける。
衿・前端にファスナーを前身頃から続けて付ける。
裏衿側は突合せとし、ファスナーのムシを見せないように付け、表衿側も顎部保護の為、ムシを見せないようにして付ける。

イ. 前身頃

脇身頃ベンチレーションホール位置まで表地を2枚重ねし、刺し子加工する。
前立ては見返しと縫い合わせる時、ファスナーを付ける。
表面は突合わせとしファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とする。
ファスナー端の見返し側よりダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置に閉止めをする。
袖ぐり、脇切り替え部分にはダブルステッチをかける。

ウ. 胸ポケット

左右の胸に口の長さ約140mmの両玉縁ファスナー付の貼りポケットを付ける。
口の周囲にステッチをかけ、口の両端は返し縫いをする。
胸ポケットファスナーは閉じて外側とする。
表地を袋布とし、身頃の裏側に当て、周囲は二つ折りし、ダブルステッチを表面まで出るように縫い止める。
左胸ポケット内部の前立側に4cm×5cmのペン差し用ループ(2本用)を付けること。

エ. 右胸台座・左胸ネーム

右胸ポケット位置より約10mm上部に25mm幅×長さ40mmの階級章マジック台を取り付ける。
左胸ポケット位置より約55mm上部上段に『大崎消防』を指定の字体・色にて刺繍し、その下に20mm幅×長さ80mmの隊名(救助隊又は特別救助隊)を表示

するマジック台を取り付け、さらにその下に20mm幅×長さ45mmの名札マジック台を取り付ける。

合せて、消防本部の指定に基づき、前記マジック台に合致する隊名（「救助隊」又は「特別救助隊」マジック）及び名札（「名字（頭文字）」マジック）を作成して納入すること。

オ. 後身頃

後身頃は肩ヨークと縫い合わせ、脇側は脇身頃と縫い合わせダブルステッチを後身頃側にかける。

衿付位置から幅約300mmまで表地を2枚重ねし、刺し子加工する。

後身頃上部中央に『宮城 大崎消防』と黒色で、すれ等に対する強度を有するようプリントする。（一文字当たりのサイズは70mm×70mm）（消防本部指定字体）

カ. 脇身頃

脇身頃下側布と袖下続きの上側布を袖下で重ね、上下を離し前後脇線で縫い合わせ、ベンチレーションホール(通気口)を設ける。

脇下側布の上端先はオーバーロックの二つ折り始末しダブルステッチをかけ、上側布の下端先は三つ折り始末しダブルステッチをかける。

前身頃と前袖を縫い合わせ、脇身頃側にダブルステッチをかける。

後身頃と後袖を縫い合わせ、後身頃・袖側にダブルステッチをかける。

キ. 袖

肩ヨークの続き袖は、肩の部分に表地2枚重ねし、刺し子加工を施し肩先端はダブルステッチで袖に縫い止める。

ヨーク前側は、前身頃・前袖と縫い合わせる時、ヨーク側にダブルステッチをかける。

後袖は肘上部辺りで切り替え2枚ハギとし、ダブルステッチをかける。

ヨーク後側は、後身頃・後袖と縫い合わせる時、ヨーク側にダブルステッチをかける。

左肩切替位置から約1cm下に消防本部指定ワッペン台マジックを縫い付ける。

腕の長さにより肘の位置が変わるため、それに合わせるため標準サイズ、±3cmの3種類を設けること。

ク. 肘刺し子

左右の肘にダーツを取った当て布をダブルステッチで縫い止める。

ケ. 袖口

後袖の袖口に両玉縁でファスナー長さ約170mmを付ける。

カフス先までファスナーを付け、周囲はコバステッチで押さえる。

ファスナー開き部分の内側（ファスナー下）に表地で水カキを付ける。

水カキはカフス先端から開き止まりまでとし、水カキの口は三つ折り始末しステ

ッチで押さえる。

シングルカフス付け内側始末は、折り曲げカフス付け側と袖口側にダブルステッチをかける。

ファスナーはロックタイプとする。

コ. 裾

シャツ型とし、三つ折り始末しステッチで押さえる。

サ. 警笛吊り

左前身頃の裏側に警笛を収納する袋（マチ付）とそれを吊るためのループを付けること。

シ. 片布・サイズ表示・品質表示

片布は左胸ポケット位置の身頃裏面に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む。

ス. 衿吊り

後中心衿ぐりに挟む。

セ. 納入年度・警告表示等

右胸ポケット位置の身頃裏側に付け、納入時に納入年度を入れるとともに、消防本部指定の一連番号を付すこと。

ソ. 肩章

両肩上部左右に肩章を付ける。

(2) ズボン

ア. 前

ウエスト続きの身頃とし、ウエストから膝上までと膝下で2ヶ所切り替え、表地2枚を重ね、刺し子加工をする。

ファスナー下から裾まで切り替え、前身頃側にダブルステッチをかける。

イ. 前立て

左上前立てに芯を貼り、約40mm幅と6mm幅の飾りステッチで押さえ左上前ファスナー開き止まり位置は小丸にし、ミシン閉止めをする。

見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。

右前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。

持ち出し布は表裏共に表地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ. 膝当て

表地2枚を重ね刺し子加工し、周囲をダブルステッチで付ける。

身長により膝位置が変わるため85cm ハーフ、95cm ハーフの2種類で膝当ての位置を対応する事。

エ. 内股

前ファスナーから前切り替え線の膝位置までの上部に刺し子加工をした布をダブルステッチで付ける。

オ. 後

後身はウエストより裾まで切り替え、ダブルステッチで押さえる。

後中心ベルトループ下から後身切り替え線までカーブで切り替え、刺し子加工を施した表地を重ね、ダブルステッチで押さえる。

後尻部分の切り替えに刺し子加工をした表地を膝裏辺りまで重ね、ダブルステッチで押さえる。

カ. ウエスト

ウエスト内側はマーベルト仕様とし、上端にステッチをかけ、更に下へ約35mm幅のステッチをウエスト一周にかける。

キ. ベルトループ

ベルトループ幅約90mm、通し幅約60mm、ループの両端にコバステッチをかける。

左右の前切り替え位置・後切り替え位置に4本付け、上端は約1cm下げて縫い、下側はダブルステッチで身頃に縫い止める。

後中心のループ幅約100mm、通し幅中心で約60mm、両端にコバステッチをかけ下端は剣先型とする。

上端は約1cm下げて縫い、下側は剣先に合わせて三角形にコバステッチで縫い止める。

ク. アウトポケット

左右脇アウトポケットの幅190mm、長さ250mm、左右にマチ布を付ける。

ポケット口はファスナー開き170mmの突合せとし、玉縁の上下端はコバステッチをかける。

ただしハーネスを付けた際にでも使用できるように、ポケット口は斜めとし、ファスナーは閉じて尻側とする。

ポケット付け位置も上記を考慮し、ポケット底辺を膝横のハギに合わせる。

ケ. 脇

前後身頃の切り替え部分、膝上あたりまで刺し子加工を施した布をダブルステッチで付ける。

コ. 尻縫い

左後身側へ片倒しをし、ダブルステッチをかける。

サ. 裾

裾はシングル・ヘム幅35mmのミシンタタキ仕上げとし、内周に絞り紐を付け、かかとへの引っ掛けゴム付きとする。

シ. 片布

片布は左脇アウトポケット位置の裏側に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む
ス。納入年度・警告表示等

右脇アウトポケット位置の裏側に付け、納入時に納入年度を入れるとともに、消
防本部指定の一連番号を付すこと。

6. 寸法表

救助服上衣サイズ表

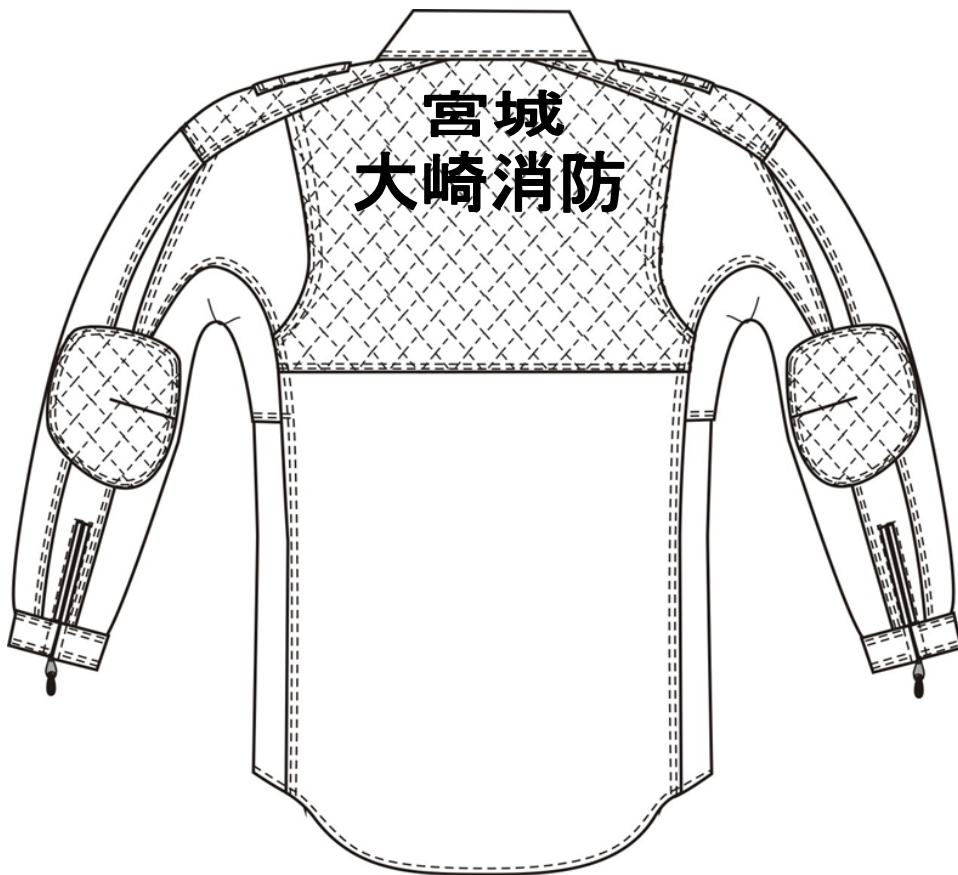
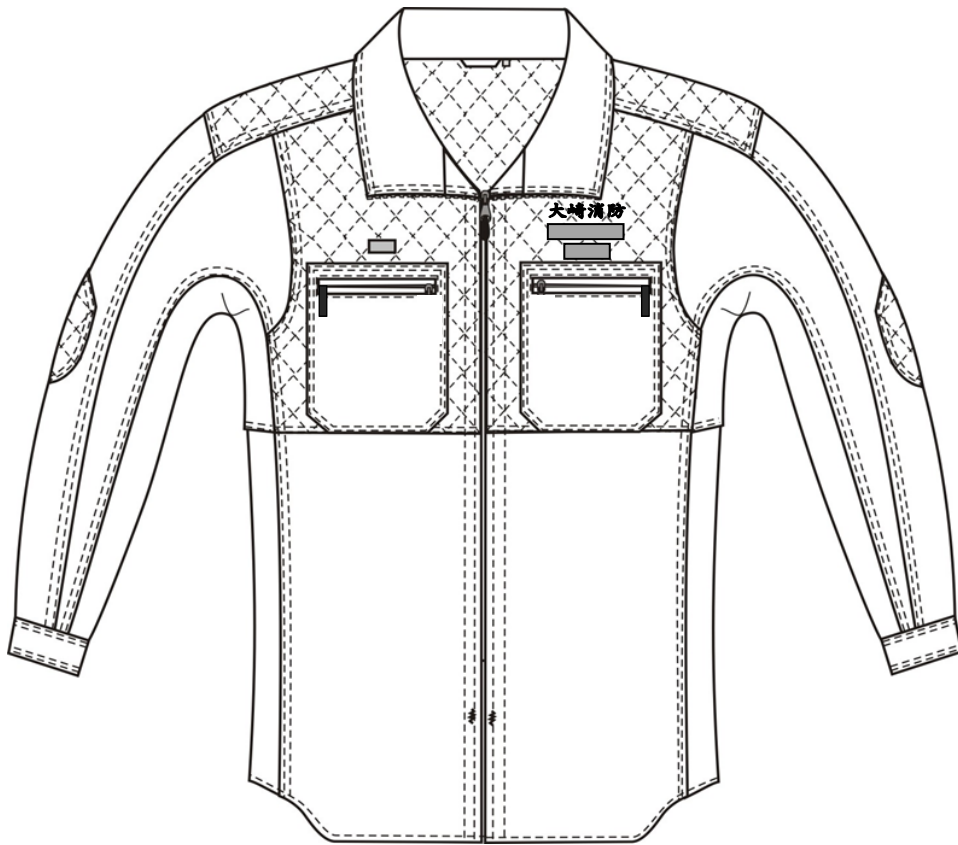
(出来上がり寸法 単位：cm)

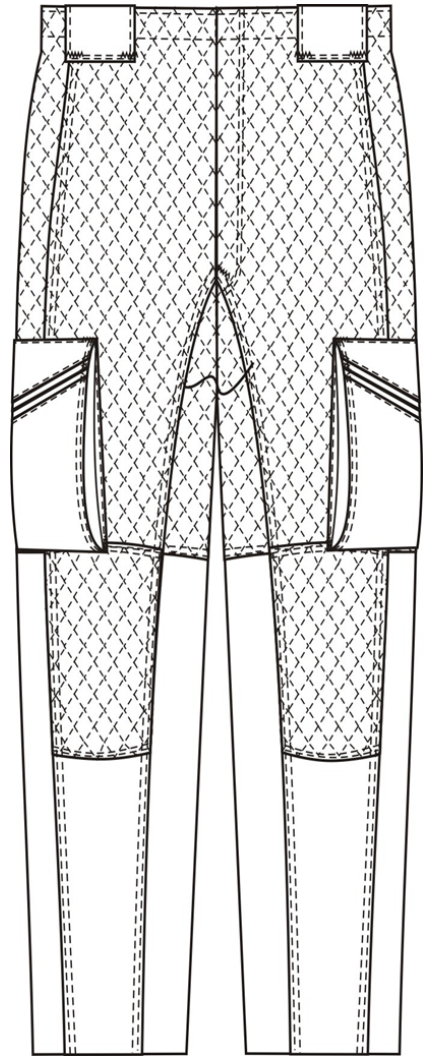
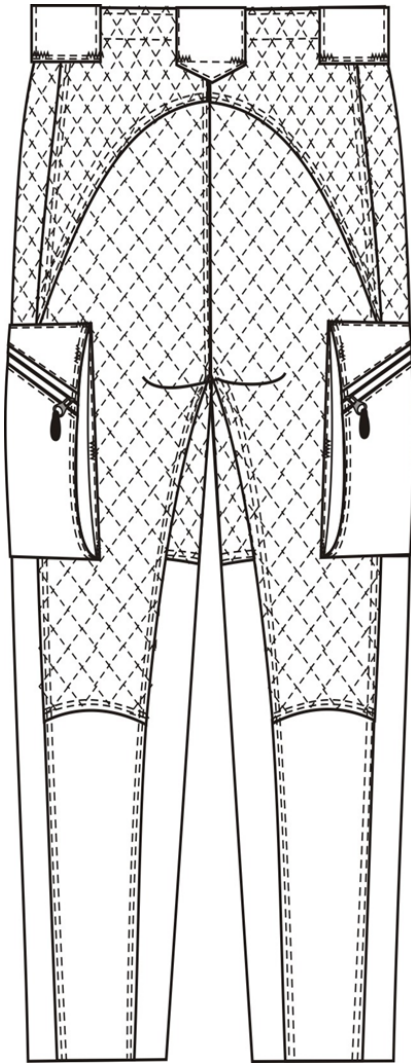
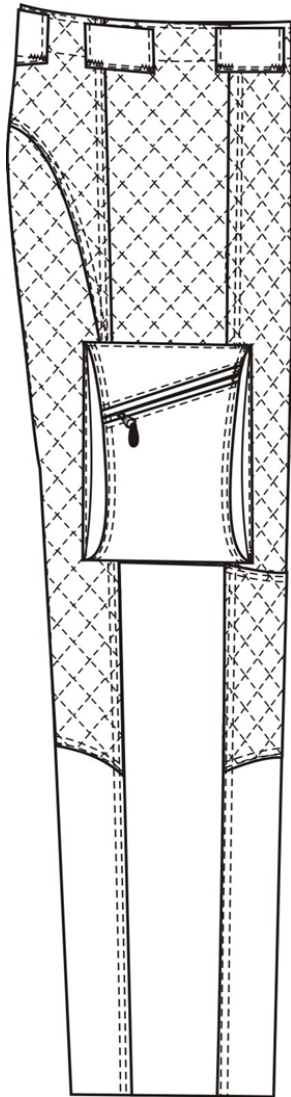
部位 サイズ	着 丈	胸 囲	胴 囲	衿 丈	ネック回り
S	73	101	99	79	46
M	75	105	103	81	47
L	77	111	109	84	48
LL	80	117	115	86	50
3L	81	123	121	89	51
4L	84	129	127	91	53
5L	86	135	133	94	54

救助服下衣(ズボン)サイズ表

出来上がり寸法 単位：cm)

部 位 サ イ ズ	ウエスト	ヒ ッ プ	わたり幅	股 下
S	75	100	33	79
M	79	104	34	79
L	83	108	36	79
LL	87	112	37	79
3L	91	116	38	79
4L	95	120	40	79
5L	99	124	41	79





生地規格表(夏救助服)

東レ NX4848S ストレッチトロピカル

項目	数 値		試 験 方 法
混紡率(%)	メタ系アラミド 94 % パラ系アラミド 4 % ポリウレタン 2 % 導電性繊維混入		JIS L 1030
使用糸番手	経 40/2 緯 40/2		JIS L 1096
組 織	1/1平織(トロピカル)		JIS L 1096
密 度 (本/2.54cm)	経 58本以上 緯 55本以上		JIS L 1096
重 量(g/m ²)	190以上		JIS L 1096
引張強力(N)	経 1000以上 緯 800以上		JIS L 1096 ラベルドストリップ法
引裂強力(N)	経 60以上 緯 40以上		JIS L 1096 ベンジュラム法
寸法変化率	経 -1.0%以下 緯 -1.0%以下		JIS L 1096
色 相	色 相(H)	9.2 R	JIS Z 8721
	明 度(V)	5.5	
	彩 度(C)	10.7	
伸 長 率	15%以上		JIS L 1096 B法
	変退色	汚染	
耐光堅牢度	3級以上	—	JIS L 0842
洗濯	4-5級	4-5級	JIS L 0844 A2法
汗	4-5級	4-5級	JIS L 0848 A法
摩擦堅牢度(乾)	—	4-5級	JIS L 0849 II形
ピリング	4級		JIS L 1076 A法
残炎時間	0秒		JIS L 1091 A4法
余じん時間	3秒		
炭化距離	10cm以下		
LOI値	26.0以上		JIS K 7201 B1法
接炎穴あき試験	60秒以上		炎の温度1200℃
摩擦帯電電荷量	7μc/m ² 未満		JIS L 1094

革手袋仕様書

大崎消防本部総務課

1 製品 トンボ 牛革手袋 CS-302W

2 仕様

- ① サイズ S/M/L/LL/3L
- ② 色 ホワイト
- ③ 素材 牛革（撥水加工）
- ④ 革の厚さ 0.7～0.8mm
- ⑤ その他 各指（5指）先，手の平二重補強
形状等は別図参照

3 その他

同等品可とする。ただし，同等品とする場合は，現品見本を提示して事前に消防本部総務課の確認を受けること。

（別図）



防火手袋仕様書

大崎消防本部総務課



ダイコープロダクト
アウトドライ手袋 DK-779

※ 同等品可とする。ただし、同等品とする場合は現品見本を提示して事前に消防本部総務課の確認を受けること。

素材	【甲・掌部】 Kevlar®とNomex®の交編織物 【インナー】 PU透湿防水フィルム 【裏地】 綿100%
サイズ	S・M・L・LL・3L →サイズについて
カラー	ブラック